

Asia Pacific Energy Regulatory (APER) Forum Meeting 2018 について

(趣旨)

11月28日(水)・29日(木)に、APER Forum Meeting 2018、同月30日(金)に field trip を東京において電力・ガス取引監視等委員会主催で開催した。その結果について報告するもの。

主なポイント

1. APER Forum Meeting の概要

APER Forum は、アジア太平洋諸国のエネルギー規制機関が集まる会議体であり、エネルギー産業・市場の発展のため、より良い規制や政策に関する意見交換の場として2012年より2年に1度の頻度で APER Forum Meeting を開催している。2016年の韓国会合にて次回開催国として日本が指名され、委員会が APER Forum Meeting 2018 を主催することとなった。

本会合では、参加国のエネルギー規制機関の代表などが出席し、各国のエネルギー市場の概要について説明するとともに、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた電力ネットワークの在り方など各国が直面している課題について検討を深める観点から、(1)新技術の普及と電力ネットワークの在り方、(2)競争的、投資可能なエネルギー市場の形成、(3)適正な市場監視・規制の在り方の3テーマについてディスカッションを行った。

2. ディスカッションの概要

テーマ1では、電力システムにおける disruptive technology についての議論がなされた。温室効果ガス (GHG) やコスト削減に資する技術の導入拡大に必要な市場設計、料金やネットワーク運用も含めた制度的課題についての議論が深められました。各国で蓄電池などの政策支援などもなされている中、こうした支援と規制との調和について議論がなされた。

テーマ2では、競争的かつ投資可能なエネルギー市場について議論がなされた。垂直統合時代から、発電、次いで小売への自由化の流れは共通であるが、国により自由化のステージも異なる中での制度

設計の考え方についての議論が交わされた。特に小売自由化を進める上で重要な要素となるスマートメーターについて、その普及の進め方やデータへのアクセスについて活発な議論が行われた。データのアクセスについて、将来的にも大きな課題になるとの認識が示された。

テーマ3では、市場監視と規制の在り方についての議論がなされた。競争促進、市場の信頼性向上の観点から、市場支配力の抑止

(market power mitigation)、相場操縦への監視などについての議論を深めた。とりわけ、情報収集、さらに、収集されたデータの分析能力の重要性について確認された。エンフォースメントに関しても、各国様々であるが、引き続き意見交換をしながらレベルアップをしていくことが重要であるという認識が一致した。

3. Fieldtrip の概要

APER Forum Meeting のテーマとの関連のある以下の施設を視察した。各国の参加者からは、電気自動車の料金プラン、電力広域的運営推進機関と一般送配電事業者の役割分担等について質問がなされた。

- －藤沢サステイナブルスマートタウン
- －アズビル株式会社
- －電力広域的運営推進機関

4. 次回開催国

2020年のAPER Forum Meetingはシンガポールで開催することが決定した。

(参考) 当日のプログラム及び各国のプレゼンテーション資料

<http://www.aperforum.org/agenda-and-presentations.html>

(参考) 各国代表の集合写真及び会合の様子



以上

Asia Pacific Energy Regulatory (APER) Forum Meeting 2018の概要

- APER Forumとは、アジア太平洋諸国のエネルギー規制機関が集まる会議体であり、エネルギー産業・市場発展のため、より良い規制や政策に関する意見交換の場として2012年より2年に1度APER Forum Meetingを開催。本年（2018年）は11月28～30日に東京にて電取委が主催。12カ国の海外規制機関が参加。
【参加国】米国、オーストラリア、ニュージーランド、シンガポール、韓国、中国、インド、タイ、フィリピン、パプアニューギニア、サモア、カンボジア
- 会合を通じて、各国の先進的な取組に関する情報収集、日本のエネルギーシステム改革の対外発信を行い、先進的取組の日本への導入、日本と調和の取れたアジア各国のエネルギーシステム改革の推進につなげていく。
- 2018年会合では、再エネの導入拡大に向けた電力ネットワークの在り方、より競争的なエネルギー市場の在り方など、日本が直面している課題について検討を深める観点から、①新技術の普及と電力ネットワークの在り方、②競争的、投資可能なエネルギー市場の形成、③適正な市場監視・規制の在り方の3テーマについて議論を行い、認識を共有。

2018 APER Forum Meetingの概要

○スケジュール概要：

- 11月28日（水） 参加国より電力・ガス市場に関するプレゼン、
テーマ別ディスカッション①、ネットワーキングディナー
- 29日（木） テーマ別ディスカッション②、③
- 30日（金） 現地視察
・民間におけるデジタル化・分散化に関する先進的取組の紹介
（藤沢サステナブルスマートタウン、アズビルテクノセンター）
・日本の特徴的な電力システムの紹介（電力広域的運営推進機関）

○場所：コンラッドホテル 東京

○出席者：海外規制機関（12カ国）、国内機関から約100名

【参加国】米国、豪州、ニュージーランド、韓国、中国、シンガポールなど

【日本政府】電力・ガス取引監視等委員会 八田委員長、委員

【国内機関】電力広域的運営推進機関、JEPX、電力中央研究所、
海外電力調査会、日本エネルギー経済研究所、RIETI（ほか）

○主要各国の出席者



アメリカ
連邦エネルギー規制
委員会(FERC)委員長



オーストラリア
エネルギー規制局
委員長



ニュージーランド
電力規制局委員長



シンガポール
エネルギー監督庁
長官



韓国
電力規制委員会委員長



中国
国家エネルギー局
次長



インド
中央電力規制委員会
委員長



タイ
エネルギー規制
委員会委員長

平成 30 年 11 月 29 日

Asia Pacific Energy Regulatory Forum Meeting 2018 (APER Forum Meeting 2018)を開催しました ～アジア太平洋諸国のエネルギー規制機関が集まり、エネルギー産業・市場の発展のため、より良い規制や政策に関する意見交換を実施しました～p

経済産業省電力・ガス取引監視等委員会は、平成 30 年 11 月 28 日(水曜日)・29 日(木曜日)に、APER Forum Meeting 2018 を東京において開催し、アジア太平洋諸国のエネルギー規制機関の代表などと、①新技術の普及と電力ネットワークの在り方、②競争的、投資可能なエネルギー市場の形成、③適正な市場監視・規制の在り方の 3 テーマについてディスカッションを行いました。

1.日程 平成 30 年 11 月 28 日(水曜日)～ 平成 30 年 11 月 29 日(木曜日)

2.場所 CONRAD Tokyo Annex 2 階「風波」(東京都港区東新橋 1-9-1)

3.参加国

オーストラリア、中国、インド、ニュージーランド、パプアニューギニア、フィリピン、韓国、サモア、シンガポール、タイ、米国、カンボジア

4.APER Forum Meeting の概要

APER Forum(Asia Pacific Energy Regulatory Forum)は、アジア太平洋諸国のエネルギー規制機関が集まる会議体であり、エネルギー産業・市場の発展のため、より良い規制や政策に関する意見交換の場として 2012 年より 2 年に 1 度の頻度で APER Forum Meeting を開催しています。2016 年の韓国会合にて次回開催国として日本が指名され、経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会が APER Forum Meeting 2018 を主催することとなりました。

本会合では、参加国のエネルギー規制機関の代表などにご出席いただき、各国のエネルギー市場の概要についてご説明いただくとともに、再生可能エネルギーの導入拡大に向けた電力ネットワークの在り方など各国が直面している課題について検討を深める観点から、①新技術の普及と電力ネットワークの在り方、②競争的、投資可能なエネルギー市場の形成、③適正な市場監視・規制の在り方の 3 テーマについてディスカッションを行いました。

5.APER Forum Meeting におけるディスカッションの概要

セッション 1 では、電力システムにおける disruptive technology についての議論がなされました。温室効果ガス(GHG)やコスト削減に資する技術の導入拡大に

必要となる市場設計、料金やネットワーク運用も含めた制度的課題についての議論が深められました。各国で蓄電池などの政策支援などもなされている中、こうした支援と規制との調和について議論がなされました。

セッション 2 では、競争的かつ投資可能なエネルギー市場について議論がなされました。垂直統合時代から、発電、次いで小売への自由化の流れは共通であるが、国により自由化のステージも異なる中での制度設計の考え方についての議論が交わされました。特に小売自由化を進める上で重要な要素となるスマートメータについては、その普及の進め方やデータへのアクセスについて活発な議論が行われました。データのアクセスについては、将来的にも大きな課題になるとの認識が示されました。

セッション 3 では、市場監視と規制の在り方についての議論がなされました。競争促進、市場の信頼性向上の観点から、市場支配力の抑止 (market power mitigation)、相場操縦への監視などについての議論を深めました。とりわけ、情報収集、さらに、収集されたデータの分析能力の重要性について確認されました。このフォーラムミーティングでの役割がますます高まってくることが確認されました。エンフォースメントに関しても、各国様々ですが、引き続き意見交換をしながらレベルアップをしていくことが重要であるという認識が一致しました。

(参考)プレゼンテーション資料

<http://www.aperforum.org/agenda-and-presentations.html>



各国代表の集合写真



会合の様子

(本発表資料のお問合せ先)

電力・ガス取引監視等委員会事務局総務課長 都築

担当者: 小柳、石原、小林、松本

電話: 03-3501-1511(内線 4361)

03-3501-1529(直通)

APER 2018

Summary of Field Trip

Organization for Cross-regional Coordination of Transmission Operators, Japan(OCCTO)

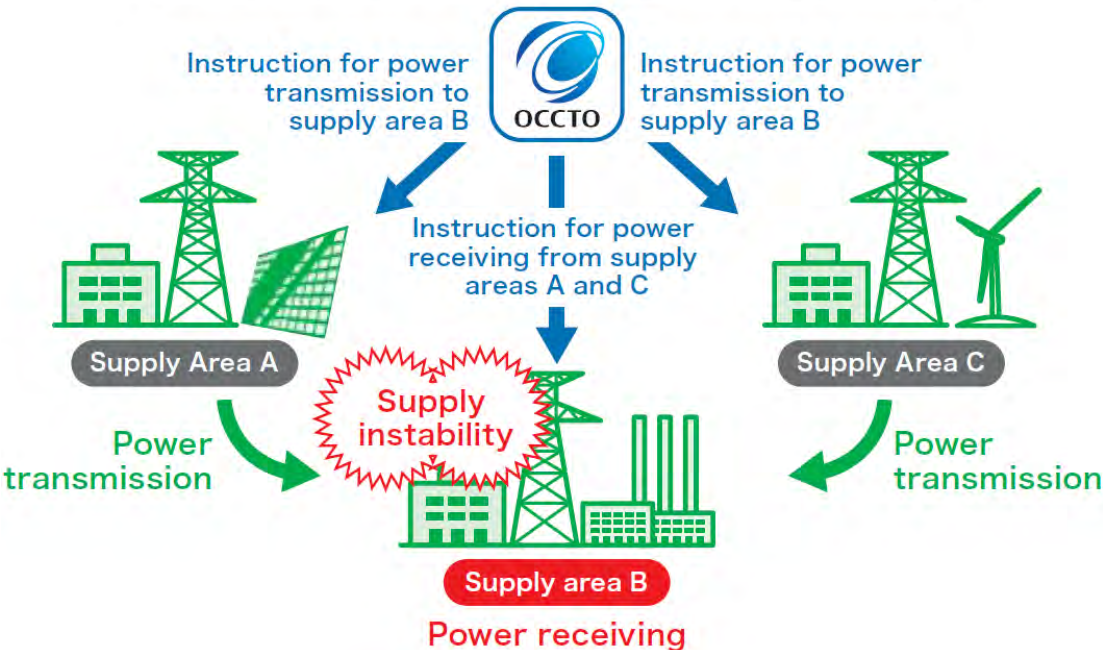
About OCCTO:

OCCTO was established in April 2015 and has been implementing the operation management with fairness and neutrality as an authorized organization that all Electric Power Companies have obligation to enter.

OCCTO's Missions:

- (1) Promote the development of electricity transmission and distribution networks, which are necessary for cross-regional electricity use;
- (2) Enhance the nationwide function of maintaining the supply-demand balance of electricity in both normal and emergency situations.

Image of Instructions In Case of Power Instability



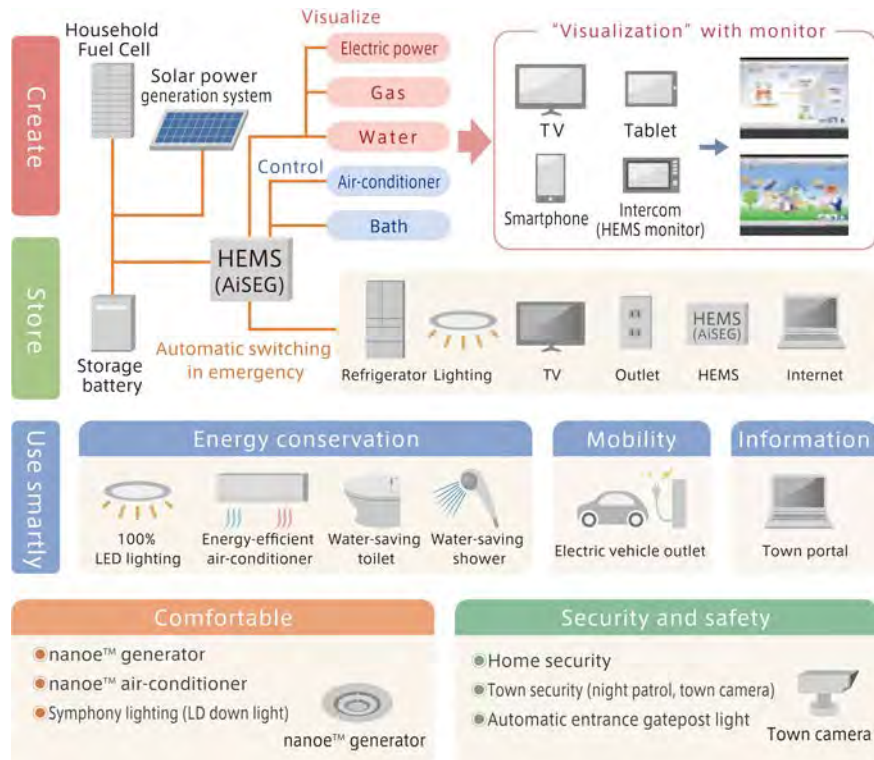
The Fujisawa Sustainable Smart Town(SST)

The Fujisawa SST challenge to build a new smart town based on actual lifestyles, not technologies, is underway. Setting a series of numerical targets in order to turn town concept into reality

[Target figures]

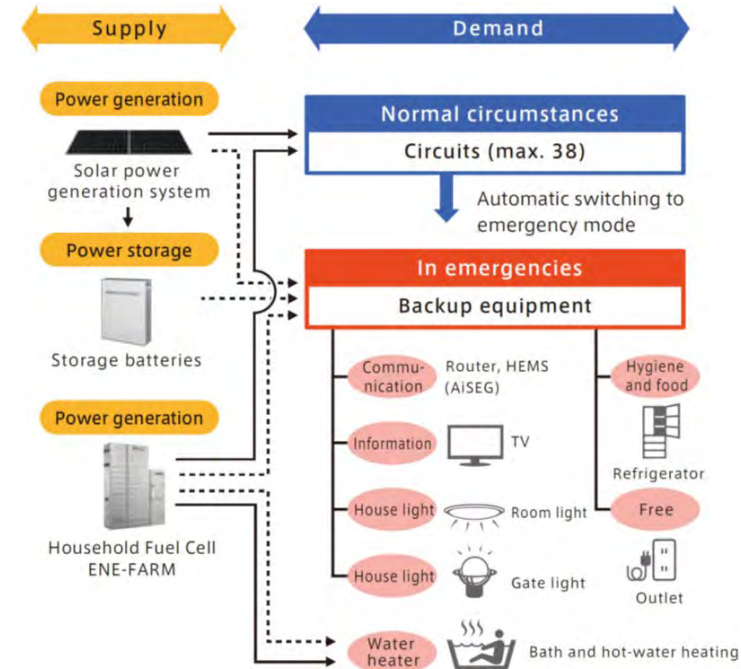


Detached houses in Fujisawa SST to be equipped with a complete SmartHEMS™, integrating solar power generation, storage batteries and other devices aimed at the future.



The town covers 19 hectares, the size of four Tokyo Domes.
 ©The above is a conceptual image.

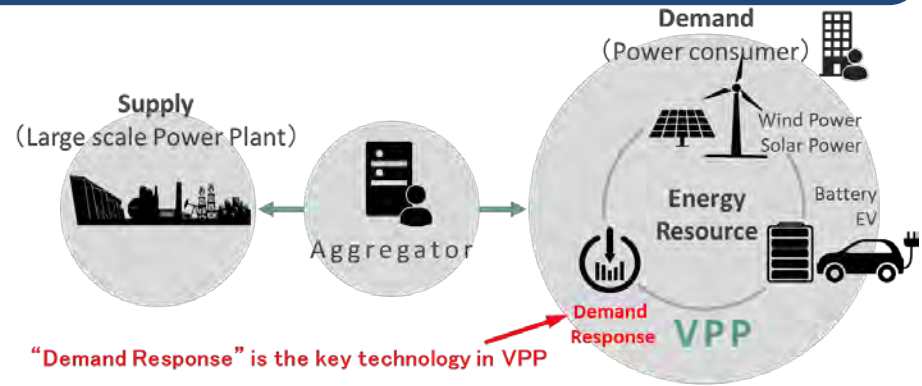
Energy Creation-storage Linked System for Home Supplying electric power and hot water in emergencies by utilizing ENE-FARM.



The azbil Group blends its long-cultivated measurement and control technologies and knowledge with cutting-edge technologies like the IoT and cloud computing, to provide customers with products and services that are ahead of their time.

Concept of Virtual Power Plant(VPP)

By the improvement IoT, we could manage all the resources including demand side and it could be possible to optimize the supply and demand balance.



Azbil's AutoDR™ System

Azbil has developed a fully automated demand response system which controls demand while maintaining comfort and optimum facility operation.

